「市民が誇りをもてるまちづくり」市民アンケート調査報告書【概要】

本報告書は、「市民が誇りをもてるまちづくり」市民アンケート調査の結果【本編】を要約したものです。

「市民が誇りをもてるまちづくり」市民アンケート調査

1. 調査目的

人口減少や少子高齢化が進む中、誰もが希望をもって暮らせる活力あるまちの実現には、市民自らまちへの誇りや愛着を持ち、積極的にまちづくりに関わっていただくことが重要である。そうした考えのもとで今後の市の取組を検討するにあたり、選ばれるまちや暮らしの満足度、舞鶴市への誇りや愛着、まちを良くする活動について、市民の意識や考え等を把握するため、アンケート調査を実施するもの。

2. 調査対象

16歳以上の舞鶴市民2,500人(無作為抽出)

3. 調査期間

令和7年2月14日(金)発送 から 2月28日(金)まで

4. 調査方法

郵送による配布・回収及びWEBフォームからの回答

1. 調査の基本情報

- **回答率: 37.7%**
- **回答者の特徴**
 - 年代が上がるほど回答率が高くなる
 - 60歳以上が回答の半数を占める
 - 「無職」と「会社員」が職業の半数を占める
 - 市内出身者（市外居住経験なし）と市内出身者（市外居住経験あり）と市外出身者の割合は一定程度分かれている

2. 「選ばれるまち」について

① 舞鶴市に住む理由・きっかけ

- **上位3項目**
 - 「家族・友人がいる」
 - 「舞鶴市で生まれ育った」
 - 「結婚を機に」
 - 上記の項目で全体の6割を占める

② 住みたいまち

- **上位3項目**
 - 「福祉・医療が充実している」
 - 「治安が良い」
 - 「災害に強い」
 - 上記の項目で全体の4割を占める
- **年齢別の傾向:**

- 40歳代以下（特に30歳代）では、「子育て支援が充実しているまち」や「教育環境が充実しているまち」が選ばれる割合が高まる

3. 暮らしの満足度と舞鶴市への誇り・愛着

① 暮らしの満足ポイント

- 上位3項目
 - 「自然に触れ合える機会が多い」
 - 「治安が良い」
 - 「時間の流れがゆったりしている」
 - 上記の項目で全体の4割を占める
- 年齢別の傾向:
 - 「自然に触れ合える機会が多い」は、年代が下がると割合が高まる
 - 「住民同士の繋がりが強い」は、年代が上がると割合が高まる

② 暮らしの満足していないポイント

- 上位5項目
 - 「医療・福祉が充実していない」
 - 「中心市街地の賑わいが無い」
 - 「他都市との行き来が不便」
 - 「働きたい企業・就職先がない」
 - 「まちの中の公共交通が充実していない」
 - 上記の項目で全体の5割を占める
- 年齢別の傾向:
 - 40歳代以下（特に30歳代）で「子育て支援が充実していない」や「教育環境が充実していない」が選ばれる割合が高まる

③ 暮らしの満足度

- 平均値: 56.4%
- 年齢別の傾向
 - 10歳代から40歳代にかけて満足度が低下し、その後上昇する傾向あり
 - 70～74歳代が最も高く、40歳代が最も低い
- 性別・居住歴別の傾向
 - 女性は男性より満足度が高い傾向があり、特に30歳代（7.2%差）と40歳代（4.7%差）で差が大きく見られた
 - 中でも、30歳代の市内出身者（市外居住経験なし）が男女の開きが最も大きかった（12.3%差）
 - 市内出身者は市外出身者に比べ満足度が高い
 - 市外出身者は年代が上がると満足度が高まる傾向が見られ、75歳以上になると市内出身者と差が見られなくなる
- 暮らしの満足ポイント・満足していないポイントとの関連性
 - 満足度が高くなると選ばれる満足ポイント
「子育て支援が充実している」「医療・福祉が充実している」「住民同士の繋がりが強い」

- 満足度が低くなると選ばれる満足していないポイント
「医療・福祉が充実していない」「働きたい企業・就職先がない」「物価や家賃が高い」
- 満足度の高低に関わらず選ばれる満足していないポイント
「中心市街地の賑わいがない」「他都市との行き来が不便」「まちの公共交通が充実していない」

④ 舞鶴への誇り

- 誇りの度合い: 55.2%
- 誇りを感じるもの・こと上位4項目
 - 「美しい自然風景や街並み」
 - 「魅力的な食べ物や特産品」
 - 「人の温かさ」
 - 「豊かな歴史や伝統」
 - 上記の項目で全体の7割を占める
- 暮らしの満足度別の傾向
 - 満足度が高くなると選ばれる項目
「美しい自然風景や街並み」「魅力的な食べ物や特産品」「盛んな文化・スポーツ活動」「生活の利便性」
 - 満足度の高低に関わらず選ばれなかった項目
「まちの活気」「地域を代表する産業や企業」「盛んな文化・スポーツ活動」

⑤ 舞鶴への愛着・親しみ

- 愛着・親しみの度合い: 69.4%
 - 舞鶴への誇りの度合い(55.2%)よりも高い
- 愛着・親しみを感じる理由上位3項目
 - 「舞鶴市に住み慣れている」
 - 「家族や親族、友人・知人が多い」
 - 「たくさんの思い出がある」
 - 上記の項目で全体の6割を占める
- 年齢別の傾向
 - 30～40歳代男性が最も愛着・親しみを感じていなかった
- 暮らしの満足度別の傾向
 - 満足度が高くなると選ばれる理由
「たくさんの思い出がある」「美しい自然風景や街並みがある」「まちの知名度が高い」「他の人に自慢できるものがある」
 - 満足度の高低に関わらず選ばれなかった理由
「まちに魅力がある」「楽しいイベントや娯楽がある」「まちに活気がある」

4. まちを良くする活動

① 「まちを良くする活動」への興味・関心や具体的な活動の割合

- 興味・関心の割合: 67.3%
- 興味・関心がある者のうち具体的に活動している割合: 25.5%
- 年齢別の傾向
 - 年代が上がると興味・関心の割合や具体的に活動している割合が高まる
- 職業別の傾向
 - 興味・関心が高い職業
「自営業」「農林水産業」「専門的職業（医師等）」
 - 興味・関心が低い職業
「パート・アルバイト」「学生・生徒」
- 暮らしの満足度別の傾向
 - 暮らしの満足度が上がると興味・関心の割合も高まる
- 具体的に活動していない理由上位3項目（カテゴライズの結果）
 - 「時間に余裕がない」
 - 「関わり方が分からない」
 - 「高齢である」

② 「まちを良くする活動」への興味・関心分野や具体的な活動内容

- 興味・関心分野上位3項目
 - 「高齢者福祉」
 - 「自然・環境」
 - 「子育て環境」
 - 他の分野にも広く分散
- 年代別の傾向
 - 20～40歳代（特に30歳代）で「子育て環境」の割合が高まる
 - 「観光」や「スポーツ」は、年代が下がると興味・関心の割合が高まる
 - 「健康づくり」や「地域コミュニティの活性化」は、年齢が上がると興味・関心の割合が高まる
- 具体的な活動内容上位2項目（カテゴライズの結果）
 - 「自然・環境に関する活動」
 - 「地域コミュニティの活性化に関する活動」

③ まちづくりへの参加促進等に必要だと思うこと

- 回答者の3割以上が選択した項目
 - 市の情報（まちの現状や課題、市の取組等）を入手しやすい仕組みづくり
 - 市民が気軽に意見を発信したり、意見交換できる仕組みづくり
 - まちづくり活動を行っている団体の情報を入手しやすい仕組みづくり
 - 市民のまちづくり活動に対する金銭的な支援（補助金など）
- 「まちを良くする活動」への興味・関心の有無別の傾向
 - 「まちづくり団体の情報の入手しやすい仕組み」は、興味・関心がない方よりも興味・関心がある方が選ばれている
 - 「まちづくり活動に対する金銭的な支援」は、興味・関心がある方よりも興味・関心がない方が選ばれている

④ 市の取組に関する意見交換等への参加希望

- 参加希望割合: 31.1%